



平成27年5月7日

各位

上場会社名 日進工具株式会社
 代表者 代表取締役社長 後藤 弘治
 (コード番号 6157)
 問合せ先責任者 執行役員管理部長 田島 寛
 (TEL 03-3763-5672)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年10月24日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	1,280	1,330	820	131.16
今回修正予想(B)	7,402	1,481	1,534	973	155.69
増減額(B-A)	402	201	204	153	
増減率(%)	5.8	15.7	15.4	18.7	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	6,418	1,069	1,107	694	111.12

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,050	1,180	740	118.36
今回修正予想(B)	6,352	1,289	811	129.82
増減額(B-A)	302	109	71	
増減率(%)	5.0	9.2	9.7	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	5,546	951	583	93.28

(注)平成26年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております)。

修正の理由

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、自動車関連では消費税絡みで国内販売が大きく減少いたしました。輸出向けや次期モデルの試作関連の仕事等から、金型や部品を中心に夏場以降回復基調を強めました。また電子部品関連では、スマートフォンの新製品向けに牽引された他、自動車の情報機器化に伴う車載向けも増加いたしました。

このような環境のなか、当社グループが得意とする超硬小径エンドミルの需要は、多少の振れはあったものの堅調に推移いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における業績が前回発表予想を上回るものと判断いたしました。個別業績予想の修正に関しても上記と同様の理由によるものであります。

なお、1株当たり40円とした配当予想についての修正はありません。

平成27年3月期決算短信は、平成27年5月14日公表予定です。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上